

第七中学校区における市立こども園設置に関する説明会 会議録

(平成 29 年 5 月 23 日 開催分)【再配布】

【1. 開催日時・場所】

平成 29 年 5 月 23 日(火) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分 秋津幼稚園遊戯室

【2. 出席者】

- ・ 保護者 23 名(年長組 13 名・年少組 10 名)、その他 2 名
- ・ 市立秋津幼稚園(井上園長・武藤教頭)
- ・ 習志野市(小澤こども部次長・小野寺こども政策課長・松岡同課施設係長・増谷同課主査・小田)

【3. 内容】

- ・ 第七中学校区のこども園設置について

【4. 配布資料】

- ・ [別紙] 第七中学校区における市立こども園の設置について

【5. 説明会概要】

1. 開会挨拶

＜井上園長＞

本日は、第七中学校区における市立こども園の設置について、こども部より説明があります。お時間をいただきますが、よろしく願いいたします。

2. 第七中学校区のこども園設置についての説明

＜小澤こども部次長＞

いつも、秋津幼稚園の運営に御協力いただきありがとうございます。

今日は少し驚かれた方もいらっしゃるかもしれませんが、ここ数年、秋津幼稚園、香澄幼稚園の在籍児童数が少なくなっています。

今年度の香澄幼稚園においては、年少さんが 5 名、年長さんが 8 名となっております。

年少さんについては、5 名ほとんどが男の子で、年長さんについては、女の子が 8 名となり、集団教育の観点から厳しい環境となっております。

秋津幼稚園については、園の良さをお認めいただき、遠方から通っていただいている方もいらっしゃいますが、今年度、年少さんが 13 名となっております。

もう少し遡って、2 年前を見ますと、秋津幼稚園でも 10 名を割るようなこともありました。

これまでも、こども部として継続して検討しておりますが、秋津・香澄地区については、団地やマンションができるといった要因で児童数が急激に増加することが考えにくい状況にあります。

子どもたちのことを考えるならば、小学校就学前のとても重要な時期に、友達と切磋琢磨して成長しあえるような環境のなかで、お預りをするべきではないかと検討を重ねてきました。

習志野市としては、七つの中学校区ごとにこども園を整備するという基本的な考え方を持っておりますので、このこども園の整備により、子どもたちの環境、保護者の皆様も子育て支援環境を良い方向に導けないかと検討してきました。

本日は、検討した内容について御説明をさせていただき、御意見を頂戴したいと思い、伺った次第です。

貴重な時間、この時間にお集まりいただくのは大変なことだと思っています。

習志野市が今考えていることをまず、お聞きいただき、貴重な御意見を頂戴できれば幸いです。

<小野寺こども政策課長>

※ 別紙資料に基づき説明しました。

※ 資料の説明に加え、地域バランスを考慮し、香澄幼稚園と秋津幼稚園をあわせた上、香澄幼稚園にこども園を整備することを検討していることを説明しました。

※ 平成 30 年度に整備し、平成 31 年 4 月より開園すること、平成 30 年度の園児募集の際は周知していくことも併せて説明しました。

3. 質疑応答

<保護者>

新しく整備するこども園の短時間児 20 名、長時間児 10 名の定員は適正なものですか？あふれることはありませんか？

<市>

適正な定員を設定しています。

各年齢で 30 名の定員を設定していますが、こども園を幼稚園として利用している保護者の方が働きたい場合など、定員の枠の中で柔軟に振り替えることができるため、まずは 30 名として設定しています。

<市>

短時間児の定員は住民基本台帳のデータを基に算出し、20 名で足りるものと試算しております。

また、施設最大の定員として、35 名までは受入可能となっています。

<保護者>

秋津幼稚園の園舎・園庭は、今後どうなりますか？

こども園の設置については決まっているのに、秋津幼稚園の今後の活用が決まっていないのは、おかしいと思います。

魅力のある園庭は、何年もかけて大切にしてきました。田んぼやビオトープなどの自然も

含めて、できれば残してほしいです。

<市>

園庭を残すことについては、貴重な御意見として受け止めさせていただきます。

今後の秋津幼稚園については、現在、何も考えを持ち合わせていません。

子どもたちのため、地域とのつながりのために活用できないか、今後、地域の皆様と共に考えてまいります。

<保護者>

香澄幼稚園の場所へ行くこととなった場合、秋津5丁目や谷津干潟の方から行くのは遠いです。下の子がいて、車での登降園ができないとなると自転車になり大変です。

新しいこども園では、3歳児から受入れるとのことですが、安全面を確保しないと保護者は選択しないと思いますが、市としてはバスでの送迎等、安全面での対策はどのように考えていますか？バスでの送迎は考えていないのですか？

<市>

地域バランスを考慮して、香澄幼稚園の場所に新たなこども園を設置する方向で検討しています。

「習志野市公共施設再生計画」においては、第七中学校の建替え時に幼小中一貫校を設置することが定められておりますが、秋津・香澄地域は、市内でも新しいまちであることもあり、この計画が実行されるのは何十年も先になっています。

子どもたちの現状を考えると、いつまでも待っている訳にはいかないと考え、既存施設を活用して子どもたちにとって望ましい環境がつかれないかを踏まえたのが今日のお話した内容です。

第七中学校区のこども園の開設と合わせ、杉の子こども園を除いて、袖ヶ浦こども園など他の市立こども園でも、短時間児の3歳児の受入れを始めたい考えはあります。

バスの送迎について、習志野市は長い間、私立と共存・共栄してきました。そのため、私立幼稚園さんとの連携の中で市は出さないこととしています。

いずれにしても、3歳児の受入れやバスでの送迎など、何ができるか検討し、報告させていただきたいと思います。

<保護者>

谷津から自転車で通っています。コミュニティバスでもあれば良いですが、それはありません。

秋津幼稚園は園庭が広いです。

香澄幼稚園に子どもを通わせていたこともありましたが、今は、あえて秋津幼稚園を選んでいきます。秋津幼稚園は残すべきです。

公務員には分からないでしょうが、香澄幼稚園と異なり、秋津幼稚園は教育の質が高いです。

検討中であれば、秋津幼稚園を残して欲しいです。

<市>

園庭の広さについて、実は香澄幼稚園の方が広がっています。

保護者の皆様の気持ちは分かりますが、地域バランスを考えると香澄幼稚園の場所にこども園を設置させていただく方向で、検討を進めさせていただいており、

香澄幼稚園が遠くでも通わせたいと思っていただけるような、園づくりをしていかななくてはいけないと考えています。

<保護者>

新たなこども園の設置場所として、地域バランスのお話がありましたが、香澄は市の端です。もっと、中央につくったほうがいろんな人が利用しやすいのではないのでしょうか？

そのあたりも考えての決定なのでしょうかね？

<市>

「習志野市公共施設再生計画」においては、現在の第七中学校の場所に香澄こども園を設置するとしており、そうなれば地理的には本当は良いと思います。

ただし、子どもの教育環境を考えると、これを待ってられないため、何とか今、対応しようとするもので、地域バランスを考慮して、香澄幼稚園の場所に新たなこども園を設置してはどうかと検討しているところです。

現状、袖ヶ浦 6 丁目から香澄幼稚園に通っている子どもたちもおり、袖ヶ浦 6 丁目や香澄地域が空白地域になることは避けたいと考えています。

<保護者>

谷津 4 丁目から秋津幼稚園まで通っており、下の子ども秋津幼稚園に入園させたいと考えています。

今、秋津幼稚園まで自転車で 20 分、雨の日に歩いて 1 時間かかりますが、それでも谷津幼稚園にはない、秋津幼稚園の広さと自然を選んで来ています。

香澄幼稚園の場所に通うとなると、バスもなく、通うことができなくなります。

遠い谷津から通うほど、秋津幼稚園には魅力があるし、小学校も秋津小学校に通わせたいと思っているため、秋津幼稚園を無くすのはどうしても反対です。

また、小学校の合併の話も考慮してほしいです。

<市>

秋津小学校は、小規模特認校であるため、どの地域からも通うことができます。

秋津幼稚園をそのように言っただけなのは、非常に有り難い事ですが、香澄幼稚園の場所を選択したのは、地域バランスを考えたものです。

施設の運営としては、どの園であっても、通いたいと思ってもらえるようにしていく必要があります。

小学校の合併の話ではなく、幼稚園とは全く別ものであることを御理解ください。

<市>

園長、職員の努力もあり、このように保護者の皆様にお認めていただけるのは、市として

は大変ありがたいことです。

こども園の整備や私立化においては、統合されてしまう側の施設の保護者からは、残して欲しいとする御意見は必ずいただくものですが、子どもたちのこと、将来のことと、習志野市の適正な施設運営の観点から、どこかで何か判断しなければならず、両方の施設を残すことは非常に厳しい状況です。

秋津幼稚園の良さをどの施設でも出せるように努めていきたいと思います。

<保護者>

袖ヶ浦こども園の前を通るたびに、長時間時の遊ぶスペースが小さいと思っていました。そうであれば、袖ヶ浦こども園をなくして、秋津にこども園をつくっても良いのではないかと考えました。

また、公園の活用も考えられているとは思いますが、一般の人も使うため、敷地のなかで遊べるにこしたことはありません。そうすると、ますます、秋津幼稚園を残した方が良いのではないかと考えます。

秋津幼稚園と香澄幼稚園を統合する前に、もっと入園してもらえるよう、子どもたちを集めるために何ができるか検討するべきではないでしょうか？

いきなり、今日のような話をされても、驚きの方が強く、家に帰れば思うことはたくさん出てくると思います。今後、お母さん寄りの考えを拾ってほしいです。

<市>

今日はいきなりのお話しでございましたので、家に帰られて沸々と思うこともあるかと思えます。

今日の説明会をもって、この件を終わりにすることはありません。

今後、香澄幼稚園でも同様の説明をするとともに、秋津や香澄のまちづくり会議でも説明をさせていただき、皆様の御意見等を伺いながら、対応を進めてまいります。

4. 閉会

《問合せ》

習志野市こども政策課 電話番号 047-451-1151(内線:442・433)

